



さくら通信

●第79回和歌山県医学会総会

場 所:和歌山県立医科大学 講堂他(平成23年7月10日)

発表者:森本理佐薬剤師

演題名:経腸栄養剤使用中に
著明なインスリン(Ins)
抵抗性より糖尿病を発症
し、1日130単位以上の
Insを必要とし、同時に
高TG血症とNASHを発
症したと考えられた1例



●第47回QCサークル活動発表会

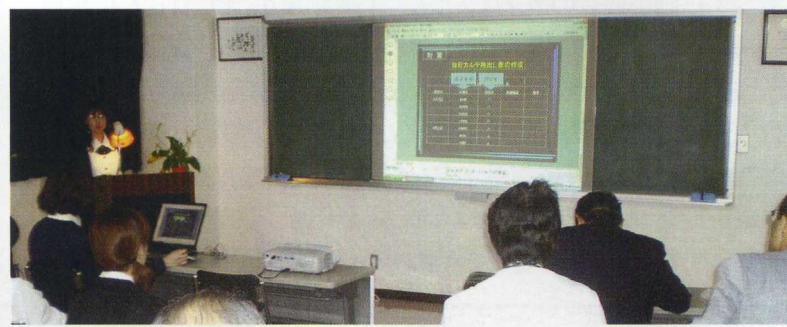
(平成23年5月30日)

優秀賞 ダルマチーム「カルテの所在を明確にする」

努力賞 大五郎チーム「職員手続き書類をスムーズに渡そう」

努力賞 キッチンチーム

「危険箇所の削減～作業環境の見直し～」



千徳会 理念と基本方針

千徳会理念

1. 信頼される医療
2. 安心・安全の医療
3. 慈愛あふれる医療

基本方針

1. 思いやり (相手の立場になり考える)
2. 感受性を豊に (小さなことにも感動を)
3. 創造性 (常にチャレンジ)
4. 合理性 (道理に適い能率的に)
5. 自己研鑽 (常に学習を)

経営理念

「職場は、職員共同の生活の源泉であり、人間完成の道場である」

「我々は最大の病院になることを望まず、最良の病院になることを望む」



(財)日本医療機能評価機構認定病院
(社)日本透析医学会 教育関連施設認定病院
(中)日本アフェリシス学会 施設認定病院



医療法人 千徳会
桜ヶ丘病院

■ 「医療機能評価更新Ver.6 認定取得！」

医療機能評価とは、患者さんの視点に立ち、病院の幅広い機能を第三者が客観的にサーベイし、一定の基準を満たしているかを評価することです。病院ごとに提供される医療の内容が違ふこと、異なる環境の中で医療が行われていることなどは、医療の受け手である患者さんが知ることは困難です。よって、全ての病院がこの第三者評価を受け、自分たちの病院が一定の水準を保持しているかどうかを確認することが望まれています。

現在、和歌山県内での医療機能評価認定状況は、92病院中19病院(20.7%)が認定されており(全国平均では8,708病院中2,500病院で28.7%)、都道府県別では47番中43番目と低い認定率となっています。当院の初回受審は2005年であり、2006年2月20日に医療機能評価認定病院となりました。当時、和歌山県内92病院中11番目で、有田地方では初となるものでした。それまでに認定されている病院は公的や財団法人が大半を占め、民間の医療法人では200床以上が2病院のみ、100床未満の民間病院では初となりました(認定有効期間は5年間)。今回、更新受審となり2011年2月19日付けで認定されました。審査体系は、前回のVer.4からVer.6に変更され項目内容の充実が図られており、さらに更新受審の場合には、初回受審時の課題が如何に機能しているか、組織に浸透しているかが問われましたが、全職員の協力のもと、認定を勝ち取ることができました。



Ver. 6.0
日本医療機能評価機構



医療機能評価における「認定」は、ホテルが5つ星や4つ星の評価を得る、レストランがミシュランの3つ星の評価を得る、一般企業においてISOに合格するという事と同様に、認定病院はきちんと仕事をしている病院で安心・信頼ができるという証であります。米国やオーストラリアなどは、民間病院が認定を受けることにより診療報酬が2~3割高くなるため受審率は、我が国と比べると飛躍的に高いそうです。日本でも、機能評価認定病院としての優遇措置を如何に拡大するべきかが今後の検討課題と思われます。しかし、この第三者評価が何のため、誰のためであるかと考えたとき、医療提供側の質向上だけでなく、医療を受ける患者さんのために役立つ情報でもあるということは明らかです。よって、今後も認定病院であることを広く発信するとともに、地域医療に貢献できるようたゆまぬ努力を続けていく所存です。

広報企画委員会紹介



広報企画委員会は医療法人千徳会の活動状況に関する情報を院内外(他医療機関)に積極的に発信していくとともに、広報活動の充実と活性化を図ることを目的とし、平成16年に発足されました。

広報企画委員会は毎月1回開催しており、広報誌「さくら通信」(医療機関向け)・「こんにちわ」(近隣企業向け)の企画・

編集、桜ヶ丘病院のホームページの企画・編集、パンフレットの内容検討などについて協議し、活発な意見交換が行われています。2007年7月創刊号より「さくら通信」を定期的に発行しており、診療科紹介、各部署・委員会活動紹介、糖尿病など身近な病気についての記事や、新入職員紹介などを掲載しています。当院の情報や活動などをより多くの方に知って頂くために、企画・原稿依頼・紙面構成に至るまで、広報企画委員会のメンバーが担当しています。また、「こんにちわ」は当院のご案内をはじめ、くらしの情報誌として健康や病気に関する記事、介護の知恵袋、旬の食材を利用したレシピなどを掲載し、季節毎のタイムリーな情報を発信しています。

当院の理念・基本方針に基づいた様々な医療・福祉活動を、地域の皆様に多面的に情報発信していけるよう今後もより一層努力して参ります。

部署紹介 腎センター

本年4月より小田稔医師を腎センター長に迎え、成川院長を含め日本透析医学会専門医の常勤2名体制となり、慢性腎臓病治療専門医療機関として今まで以上に診療体制の充実化を図ることができるようになりました。

さらに毎週月曜日の午後からは、和歌山県立医科大学腎臓内科・血液浄化センターの重松隆教授による診療を行っており、入院・外来患者さんへの透析治療、腎臓病のみならず腎臓に関係の深い高血圧などを含めた総合的な治療を行っています。

現在、透析ベッド数は31床で、80名前後の患者さんに対して血液浄化療法やLDL吸着療法等を実施し、シャントトラブルにも常に対応ができるようインターベンション治療にも積極的に取り組んでおります。透析治療に関して患者さんだけでなくご家族への負担も軽減し、QOLの向上に努めています。

また、3月からはベッドに備え付けてある全てのテレビが、地上波デジタル放送対応液晶テレビとなり『とても画像がよくなり、観賞しやすくなっ

た』と好評を得ています。

医師をはじめ、看護師、コメディカル等の他職種間で協力し、種々の症状に対する適切な治療に加えて生活指導などを行なうことで総合的な治療を目指し、スタッフ一同懇切丁寧な対応を心がけて行きたいと思えます。



高尿酸血症・痛風について

梅田恭史 内科医長



こんにちは、内科の梅田です。実は私自身も20歳代後半からの高尿酸血症でしたが特に自覚症状もなかったのが数年間放置しておりました。そんなある日突然足の親指の付け根が、歩けない程痛くなり「医者の不養生」をまさに痛感し、以来内服治療を続けております。

このように高尿酸血症はそれ自体はほとんど自覚症状がない為、健康診断で高尿酸血症を指摘され要治療の判定となっても再診されず、痛風発作で受診するケースが少なくないと思います。痛風発作の治療は非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)を短

期間のみ比較的大量に投与して炎症を沈静化させます(NSAIDsパルス法)。また、NSAIDs投与不可あるいはNSAIDs無効例や多発性に関節炎を生じている場合などには副腎皮質ステロイドを投与します。注意点として痛風発作時の尿酸降下薬投与は痛風発作を増悪させるため投与開始しないのが原則という事です。

次に尿酸降下薬ですが、高尿酸血症は尿酸排泄低下型と産生過剰型に分類され、排泄低下型には尿酸排泄促進薬を、産生過剰型には尿酸生成抑制薬を選択します。詳しくは「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第2版」をご参照下さい。

近年、高尿酸血症は心筋梗塞の危険因子と言われており、早期の尿酸値正常化が生命予後にも影響します。薬物療法とともに重要なのが飲酒制限も含む食事療法です。当院では管理栄養士による栄養指導も積極的に行っており、高尿酸血症や他の生活習慣病の栄養指導も御紹介いただければ有効な病診連携が行えると考えております。

●病棟行事(七夕会)

7月7日の七夕の日に当院でも七夕会を行いました。今年みんなで短冊作りを行い、笹に願いをこめました。「たなばたさま」「海」を歌い、患者さんから「なつかしいなあ」と喜んでもらいました。



●本年度1回目の消火避難訓練を実施
5月26日(木)

本館病棟夜間想定の避難訓練を実施し、40名の参加がありました。当日はあいにく雨天のため救助袋の実技訓練は中止となり、会議室にて東南海地震対策のビデオ鑑賞を実施しました。



新入職員紹介



腎センター 准看護師 坂元久美子

平成23年6月1日入職

6月より腎センターに勤務させて頂いております。透析は未経験なためご迷惑をお掛けしていますが、1日でも早く皆様のお役に立てるよう努力してまいります。

医療法人 千徳会
桜ヶ丘病院

理事長 成川守彦 院長 成川暢彦

■診療科目等

- 内科
- 腎臓内科(人工透析)
- 呼吸器内科
- 胃腸内科
- 糖尿病内科
- 脂質代謝内科
- 皮膚科
- 婦人科
- 眼科
- 泌尿器科
- 放射線科
- リハビリテーション科
- 禁煙外来
- 人間ドック
- 協会けんぽ管掌健診指定
- 各種基本健診
- 入院許可ベッド数 99床
- 一般病床:39床(特殊疾患病棟入院科1)
- 医療療養病床:60床(療養病棟入院基本科1)
- 腎センターベッド数38床(最大受入患者数14名)

〒649-0316 和歌山県有田市宮崎町841-1
TEL:0737(83)0078 FAX:0737(83)0079
E-mail : sakura_2007@cherry-hill.or.jp
http://www.cherry-hill.or.jp

●地域連携室 TEL 0737(83)0829



《夜間透析実施中》JR記勢本線真島駅よりタクシーで約6分、デマンドバスで約10分

■医師診療担当表		月	火	水	木	金	土	
AM	外来	内科1診	梅田	石亀	西山	梅田	石亀	西山
		内科2診		小田	成川暢	西山		
	婦人科	成川守						
	病棟・救急担当	西山	AM 梅田 PM 石亀	和医大 佐々木/石亀	西山	梅田	梅田	
腎センター	AM	小田	成川暢/小田	和医大 増本/成川暢	小田	梅田	石亀	
	PM	和医大教授 重松		西山		小田		
PM	手術・PTA	小田	小田	和医大 増本/成川暢	小田	成川暢/小田	小田	
	訪問	(月期) 西山				西山/石亀		
	眼科			第2-4水曜日 和医大眼科				
	禁煙外来				西山			

■医療法人千徳会

本部〒649-0304 和歌山県有田市箕島1265
電話 0737-83-1000 FAX 0737-85-2640

- 桜ヶ丘病院
〒649-0316 和歌山県有田市宮崎町841-1
電話 0737-83-0078 FAX 0737-83-0079
- さくら訪問看護ステーション
〒649-0305 和歌山県有田市港町29-1
電話 0737-83-0077 FAX 0737-83-0077

■社会福祉法人千徳会

本部〒649-0316 和歌山県有田市宮崎町911
電話 0737-82-6644 FAX 0737-82-6609

- 特別養護老人ホーム田鶴苑(介護老人福祉施設・短期入所事業)
〒649-0316 和歌山県有田市宮崎町911
電話 0737-82-6644 FAX 0737-82-6609
- デイサービスセンター田鶴苑(通所介護事業)
〒649-0316 和歌山県有田市宮崎町911
電話 0737-82-6644 FAX 0737-82-6609
- 訪問介護田鶴苑(訪問介護事業)
〒649-0316 和歌山県有田市宮崎町911
電話 0737-82-6644 FAX 0737-82-6609
- 有田市在宅介護支援センター(居宅介護支援事業)
〒649-0316 和歌山県有田市宮崎町911
電話 0737-82-2565 FAX 0737-82-6609
- 宮崎クリニック(診療所)
〒649-0316 和歌山県有田市宮崎町911
電話 0737-82-6644 FAX 0737-82-6609
- 特別養護老人ホーム愛宕苑(介護老人福祉施設・短期入所事業)
〒649-0305 和歌山県有田市港町9-1
電話 0737-82-0600 FAX 0737-82-0606
- デイサービスセンター愛宕苑(通所介護事業)
〒649-0305 和歌山県有田市港町9-1
電話 0737-82-0630 FAX 0737-82-0606
- ケアハウス愛宕苑(地域密着型特定施設入居者生活介護事業)
〒649-0305 和歌山県有田市港町9-1
電話 0737-82-0640 FAX 0737-82-0606
- グループホーム愛宕苑(認知症対応型共同生活介護事業)
〒649-0305 和歌山県有田市港町29-1
電話 0737-23-7177 FAX 0737-83-5501

編集後記

今年の夏は猛暑とされています。大震災の影響で電力不足が懸念されるこの夏、節電やecoが取り沙汰されています。当院でも15%節電を目標に、各部署が暑さ対策に取り組み、この夏を乗り切ろうとしています。皆様も体調を崩されませぬように楽しく節電に取り組んでみられてはいかがでしょうか。